

市民参加型×大学の知を地域へ 「学びが広がる、安心して暮らせるまち。」
健康で豊かな人生につながる、学びの宝箱

人を助けたい、という人の大学 千葉科学大学公開講座 2026



主催 学校法人大城学園



千葉科学大学

共催 銚子市・銚子市教育委員会

後援 旭市・匝瑳市・東庄町・神栖市



千葉科学大学 学長 藤本一雄

本学は、本年4月より学校法人大城学園へ運営がバトンタッチされ、第2の開学を迎えました。新たな体制のもとにおいても、これまで大切にしてきた理念を継承し、引き続き、地域・社会への貢献に努めてまいります。その具体的な取組の一つとして、本学では教育・研究の成果を地域に還元する活動を重視してまいりました。

その一環として、地域社会の一員として、社会全般にわたる教養を深め、広く市民の皆様と共有することを目的に、公開講座を開講してまいりました。令和8年度は、薬学部・危機管理学部・看護学部の教員による43講座を開講し、専門的知見を分かりやすくお伝えすることで、地域・社会への貢献をさらに深めていきたいと考えております。

分野 a：医療系 b：看護・福祉系 c：危機管理系（防災・環境等） d：社会学・心理学系 LIVE配信と併用

SDGs:国連は、「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」等、17の目標を示しています。「人を助けたい、という人の大学」として、教育・研究・社会貢献に取り組んでいる本学は、大学全体の活動としてSDGs（「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals））の視点を取り入れた発信に努めています。17の具体目標については、スマホや書籍等でご確認ください。

分野	No.	テーマ・概要	SDGs	開講日時	担当講師
c	1	災害対策本部機能の継続（北米の事例から学ぶ）	9・17	7/14(火) 15:00～16:00	危機管理学科 准教授 五十嵐 仁
		官民問わず組織において災害初動対応の要となり諸緊急活動を調整するのが災害対策本部です。日本では、災害対策本部機能の継続に今日でも難しさがあり、1995年の阪神淡路大震災の教訓が生かされていない点もあります。北米の事例を使って、世界標準の災害対策本部機能の継続手法を紹介します。			
d	2	政治の舞台裏と報道のウラ側 ～元政治記者が語る永田町とニュースのリアル～	4・16	7/21(火) 15:00～16:00	危機管理学科 教授 小西一禎
a	3	いきいき脳健康教室 ～いつまでもいきいきとした脳を保つために～	3	7/22(水) 15:00～16:00	薬学科 教授 大上哲也
		「最近、物忘れが気になる」「人の名前が思い出せない」など、不安を感じることはありませんか。本講座では、認知症の基礎知識についてわかりやすく解説するとともに、脳トレ体験や簡便な認知機能チェックを行います。楽しみながら、脳の健康づくりを一緒に学びましょう。			
a	4	薬剤師のお仕事を知ろう	3	7/24(金) 15:00～16:00	薬学科 教授 加藤 隆 准教授 大徳秀幸
d	5	マーケティングの起源は日本にあった？	8	7/27(月) 15:00～16:00	危機管理学科 准教授 大平眞志
a	6	胃潰瘍治療薬の変遷	3	7/31(金) 15:00～16:00	薬学科 教授 安東賢太郎
c	7	魚の健康を守れ！水中の命を守るプロになろう	13・14	LIVE配信と併用 8/4(火) 15:00～16:00	動物危機管理学科 講師 金 東仁
b	8	赤ちゃんがやってきた！ ～孫を授かったら知っておきたい今どき育児のヒント～	3・4・5・11	8/7(金) 15:00～16:00	看護学科 教授 加藤江里子
c	9	災害と公衆衛生	3	8/21(金) 15:00～16:00	保健医療学科 講師 小松義孝
a	10	筋肉は“動かすだけ”じゃない ～運動すると健康になる本当の理由～	3	8/28(金) 15:00～16:00	動物危機管理学科 教授 福永優子
c	11	救急救命士の仕事とは？	3	8/31(月) 15:00～16:00	保健医療学科 助教 飯田涼太
a	12	心電図検査で何をみているの？（2026年度版）	3	9/1(火) 15:00～16:00	保健医療学科 教授 木内幸子
b	13	人生最終段階の3つの病態	3	9/2(水) 15:00～16:00	看護学科 准教授 大塚朱美
a	14	生活習慣病とトイレの話題	3	9/4(金) 15:00～16:00	薬学科 准教授 片岡智哉
d	15	アニメツーリズムによる聖地巡礼を読み解く～「まちおこし」との融合から生まれる明日の原点～	4・8・9	9/7(月) 15:00～16:00	危機管理学科 教授 木村栄宏 教授 戸田博也

分野	No.	テーマ・概要	SDGs	開講日時	担当講師
c	16	動物検疫 ～海外から動物の伝染病の侵入を防ぐ取り組み～	3・9・11	9/8(火) 15:00～16:00	動物危機管理学科 教授 小岩井正博
		動物検疫所が行っている海外から動物の伝染病の侵入を防ぐ取り組みや、リスク評価を行い制度改正した例など、国の水際対策がどのように徹底されているか紹介します。			
a	17	体内コラーゲンの役割をヒントにした研究とその実用化構想	9・12・13・17	LIVE配信と併用 9/11(金) 15:00～16:00	薬学科 教授 竹澤俊明
a	18	くすりの飲み方、くすりの飲み合わせ・食べ合わせに潜む危険性	3	9/14(月) 15:00～16:00	薬学科 教授 細川正清
b	19	呼吸法を養生法として取り組んでみませんか（漸進的筋弛緩法）	3	9/16(水) 15:00～16:00	看護学科 講師 岡本陽子
c	20	災害と自衛隊 ～災害派遣の実態（リアル）～	11・16	9/29(火) 15:00～16:00	航空技術危機管理学科 教授 松家秀平
d	21	人はなぜ助け合い、なぜ衝突するのか：人間関係の心理学	4・17	LIVE配信と併用 10/1(木) 15:00～16:00	危機管理学科 教授 王 晋民
a	22	がんの分子標的治療薬と臨床検査	3	10/6(火) 15:00～16:00	保健医療学科 教授 池田 聡
c	23	利根川の豊かな生態系を守るために	14	10/8(木) 15:00～16:00	動物危機管理学科 教授 小濱 剛
a	24	健康診断データから読み解く、生活習慣病の本当のリスク	3・4	10/14(水) 15:00～16:00	保健医療学科 助教 高野洋平
a	25	より安全に使える医薬品の開発を目指して	3	10/16(金) 15:00～16:00	薬学科 教授 今井信行
c	26	空を飛ぶだけじゃない？エアラインパイロットのリアルな日常	8	10/21(水) 15:00～16:00	航空技術危機管理学科 教授 加藤克彦
a	27	複数の薬を同時に摂取したら、どうなる？	3・4	LIVE配信と併用 10/28(水) 15:00～16:00	薬学科 教授 大高泰靖
a	28	続・内臓脂肪減少薬「オルリスタット」と歩んだ健康改善の記録 ～METsを活用した取り組み～	3	10/30(金) 15:00～16:00	薬学科 准教授 高橋真樹
d	29	AIは魔法の道具箱？今日から始める「便利なAI」との付き合い方～心理学から知る、AIの仕組みと活用のコツ～	4・9・17	11/4(水) 15:00～16:00	危機管理学科 准教授 粕川正光
a	30	薬の剤形の特徴と正しい使い方	3・4	LIVE配信と併用 11/5(木) 15:00～16:00	薬学科 講師 高橋正人
b	31	超高齢者（90歳以上）時代のケアに向き合う方法	3	11/10(火) 15:00～16:00	看護学科 教授 安藤智子
d	32	寄り添い方、一緒に考えてみませんか？【ゲートキーパー養成講座】	3	11/12(木) 15:00～16:00	保健医療学科 助教 村上 龍

分野	No.	テーマ・概要	SDGs	開講日時	担当講師
a	33	美容のダイエットの危険性、ウコービ、マンジャロに潜む罠 今、糖尿病治療薬の1種、GLP-1作動薬がダイエットの目的で使われています。副作用がない薬のようにみえますが、急性膵炎を起こしたり、心臓に重い負担をかけるのです。太る仕組みを知って、安全にダイエットするには、どうしたらよいか、一緒に考えてみましょう。	3	11/18(水) 15:00～16:00	薬学科 教授 森 雅博
a	34	健康の眼、病気の眼 人も犬も加齢に伴い眼に色々な病気が出てきます。共に寿命が延びたのが一つの要因かもしれませんが。健康の眼とは？病気の眼とは？加齢に伴いどんな病気があるのか？これらのことをやさしく解説します。	3	12/3(木) 15:00～16:00	動物危機管理学科 教授 坂 芳樹
c	35	現代の旅客機の運航を支えている自動操縦装置 自動操縦装置はパイロットを楽にするためにあるものではありません。この装置は人間と機械のコミュニケーションの重要な位置を占め、かつこの装置が無ければ増大する交通量の中で狭い空域を安全に飛行することが出来ません。定員6名	4	12/9(水) 15:00～16:00	航空技術危機管理学科 教授 津村 準
c	36	水環境の未来を考える ～海洋変化から飲料水まで、地域から見える課題～ 気候変動による海洋環境の変化、地球温暖化の影響、上下水道インフラの老朽化、飲料水の安全性、そして増え続けるマイクロプラスチックなど、水をめぐる課題は多様化しています。本講座では、これらの問題をわかりやすく解説し、未来の水環境を守るために私たちができる取り組みを考えます。	6・14	LIVE配信と併用 12/11(金) 15:00～16:00	動物危機管理学科 教授 手束聡子
a	37	免疫機能を整える食生活とは？ 免疫力は風邪やインフルエンザを含め、あらゆる感染症のリスクの低下に関係があり、また感染症だけでなくがんリスクの低下にも関係しています。ここでは、免疫力を高める方法をはじめ、そもそも免疫力とは何か、免疫力が落ちてしまう原因などについて紹介します。	3	12/16(水) 15:00～16:00	薬学科 教授 岡本能弘
c	38	こどもになって、考えてみよう！ ～こどもの事故防止～ 我が国では、不慮の事故で多くのこどもが命を落としています。こどもの世界を体験しながら日常生活に潜む危険と一緒に考えてみませんか？いざという時の対処方法についても、お話しします。	3	12/24(木) 15:00～16:00	看護学科 講師 高木典子
b	39	今日からできる血圧ケア あなたは自分の血圧を知っていますか？本講座では、銚子市のデータをもとに、高血圧の現状や、血圧が高いと何が起るのかをわかりやすくお話しします。また、家庭での血圧測定のポイントや、食事・生活習慣の工夫など、今日からできる予防方法をご紹介します。健康な毎日のために、一緒に考えてみましょう。	3	1/20(水) 15:00～16:00	看護学科 助手 菅谷亜希子
d	40	ホワイ ジャパニーズ コミュニケーション!? 国際化の時代、コミュニケーションの違いを感じたことはありませんか？日本人同士でも悩ましい時ってありますよね。日本人のコミュニケーションの特徴を理解するとこれからの人間関係が素敵になるかもしれません。	3・16	1/22(金) 15:00～16:00	看護学科 助教 宮口恵美子
b	41	がんの診療の流れと療養生活について がんの診療の流れと療養生活について早期発見と受診の流れと、実際にがん治療を受け療養生活を送る上でのポイントを整理し解説いたします。	3	1/26(火) 15:00～16:00	看護学科 准教授 上杉英生
b	42	アロマを楽しむ手作り小物づくりに挑戦！ アロマセラピーは、植物が持つ自然の香りを利用して、心や身体を穏やかに整える手法として広く親しまれています。本講座では、香りの基礎知識を学びながら、アロマを使ったオリジナル小物づくりに挑戦します。	3	1/28(木) 15:00～16:00	看護学科 教授 富樫千秋
b	43	「AI活用で健康寿命アップ」テクノロジーで元気に暮らす スマホアプリやAIを使って、健康管理を身近に取り入れてみませんか？本講座では、血圧・服薬管理など、日常生活で今日からできるAIアプリの活用方法を実際の画面を見ながらわかりやすくご紹介します。一緒に元気な毎日を考えてみましょう。	3・9・10・17	1/29(金) 15:00～16:00	看護学科 講師 明神一浩

受講にあたって

1. 対象及び受講料
どなたでもご参加いただけます。受講料は無料です。
2. 受講方法及び会場
(1)対面での受講：本学マリーナキャンパス内・防災シミュレーションセンターを主会場とします。
(2)LIVE 配信での受講：『LIVE 配信と併用』と記載された講座で LIVE 配信を希望された方は、『Zoom』アプリを利用し、ご自宅等で視聴します。受講日が近づきましたら、ご連絡いただいた E-mail アドレス宛に講座の公開 URL 等をお送りします。
(3)受付は、各講座開始 30 分前から行います。
(4)自家用車でお越しの際は、マリーナキャンパス前の学外駐車場をご利用ください。

注意事項

1. 各講座とも、開講日の4日前（土・日・祝を除く）までにお申し込みください。
2か月後の講座までお申し込みいただけます。
2. 定員は 40 名ですが、講座内容等によって変わる場合があります。応募多数の場合は先着順とします。
3. 天候、その他の事情により、講座を中止する場合があります。
4. お申し込みの際の個人情報は、今後の公開講座のご案内に使用させていただく場合があります。
5. 感染症対策について、以下のケースにあてはまる場合は、当日の受講をお控えください。
(1)本人や同居する家族に感染が判明した場合
(2)発熱、咳、息苦しさ、倦怠感、かぜ症状等がある場合

申し込み方法

下記【講座のお問い合わせ先】に、「希望講座」・「お名前」・「住所」・「電話番号」・「小・中・高校生は学年」をご連絡ください。
なお、LIVE 配信希望の方は、必ず E-mail でお申し込みください。

【講座のお問い合わせ先】

千葉科学大学 総務部 総務課 TEL 0479-30-4711（平日 9:00～16:30）FAX 0479-30-4501
E-mail: ml-somu@ml.cis.ac.jp URL <https://www.cis.ac.jp/partnership/community-outreach/>